

杉本キクイをはじめとして、最盛期には 19 軒の瞽女の親方が、それぞれに弟子と養女を育て、高田から頸城三郡と信州北部の村々へ昔ながらの旅巡業をしていました。高田には盲人教育の歴史がありましたが、医療や社会福祉制度は、まだ不十分な時代でした。

市川信次は、師の柳田國男の示唆を得て、昭和7年から高田の瞽女を研究し、廃れていく習俗と芸能の保存に力を注ぐとともに、アチックミュージアムの澁澤敬三や写真家の濱谷浩らの協力を得て、民俗学のフィールド調査による貴重な記録を残しました。そして、本会の初代会長でもある故市川信夫氏（信次の長男）は、美喜恵夫人とともに、父の研究を受け継ぎ、引退した杉本家の瞽女たちを親身にささえてきました。

そのおかげで、高田には瞽女の歴史を知る上で貴重な記録が残り、庶民が助け合って生きていた時代を語ることができます。本ミュージアムの開館1周年を機として、越後瞽女の文化を継承するために、市川信次、信夫親子二代にわたる業績を知り、大切な文化遺産である資料を展示します。

(展示協力：上越市立総合博物館、市川家)

昭和初期の民俗学と瞽女研究

市川信次、信夫と  
鼓目女

**開館日時** 2016年 **11月3～6日** (木・祝～日) 10時～16時  
注) 3日のみ、午後1時から公開します。

**見えない世界を見る！ Workshop in 瞽女ミュージアム**

3日 10:30～12:30「見えない世界を見る」ワークショップ 広瀬浩二郎

共同  
企画

全盲の文化人類学者である広瀬さんと視覚を使わずに、ものを見る＝「さわる」ワークショップを町家の空間で体験して「触文化」の可能性を再発見しましょう。

参加費：一般 500円 / 障がい者無料  
定員：10名 (高校生以上、先着順) 申込：Tel. 025-522-3400 (小川)

連続  
トーク

4日 14:00～「高田瞽女の世界」…………… 鈴木昭英・板橋春夫  
5日 14:00～「市川信次、信夫親子の仕事」… 川野楠己・市川美喜恵  
6日 14:00～「瞽女、市川家と斎藤真一」… 斎藤裕重・池田敏章  
連続トークの参加費は無料 (入館料を含む)



↑ 左から斎藤真一、市川信次、武智鉄二 (昭和48年頃)



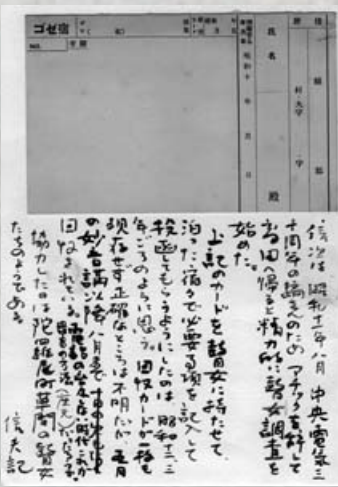
↑ 市川家所蔵の瞽女式目

**場所** 瞽女ミュージアム高田 map②

**料金** 一般 500円 / 学生 300円 (団体割引あり)  
中学生以下、障がい者及び介助者1名は無料です



↑ 高田瞽女最後の親方 杉本キクイ



↑ 昭和12年頃の信州巡業の調査票



**瞽女ミュージアム高田②**  
瞽女資料と斎藤真一作品展示  
高田の雁木町家の公開活用

**高田世界館①** 擬洋風レトロ映画館  
築105年 現役映画館で最古級  
フィルム上映文化の次世代継承

北陸新幹線 はくたか  
東京駅から約2時間

上越妙高駅からときめき鉄道乗換  
新潟県上越市の高田駅へ7分

上信越自動車道・上越高田IC  
または 北陸自動車道・上越ICから  
高田駅まで 車で約12分



**問い合わせ** NPO法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会  
瞽女ミュージアム高田

〒943-0825 新潟県上越市東本町 1-2-33  
Tel. 025-522-3400 Fax. 025-522-3413  
URL <http://www.goze-museum.com>